

第一礼拝次第

メッセージ: 渡真利彦文牧師

プレイスメント: 郭永東牧師 ライブ 配信: 伊禮信義先生

前 奏
頌 栄
主の祈り

5 4 0

プレイズ

「さあ賛美しよう」

「素晴らしい主を」

聖書朗読

創世記 28:10~22

祈 禱

(旧約聖書 p.46)

賛 美

讃美歌 9

メッセージ

「神との出会い-ベテル-」

祈 禱

賛 美

讃美歌 320

聖 餐 式

献 金

報 告

頌 栄

祝 禱

新生 672b

会 衆
会 衆

会 衆

司 会

司 会

会 衆

牧 師

牧 師

会 衆

司 会

会 衆

牧 師

<巻頭言>

「平和の祈り」

渡真利彦文

沖縄の島々には常に二つの風景がある。一つは目に見えるままの風景であり、一つは目に見えず心にある風景である。二つの風景の中には常に平和への祈りがある。

沖縄は第二次世界大戦で日本唯一の住民を巻き込んだ地上戦が行われた場所である。沖縄では組織的な戦闘終結 6月23日を1961年から「慰霊の日」として戦没者を追悼し、平和を祈る日としている。

愛星幼稚園は6月23日を含む週を平和週間として平和学習を行った。戦争で亡くなった人に思いを馳せる「月桃の花」という歌を歌い、戦争や平和についての絵本を読み、クラスごとに学びました。月桃の花は4月から6月に開花するので、ちょうど沖縄戦で鮮烈な戦闘が繰り広げられていた時期と重なる。

子どもながらに平和の大切さを感じ、身の回りでおこるけんかがなくなるように戦争がなくなるように祈る。

「平和の祈り」はすたれることはない。

敗戦80年を経て、沖縄はまだ戦後が続いていると言われる。戦争体験者が年々少なくなっている中、平和の希求を衰退させてはいけないうちに新たなにしている。

「平和を実現する人々は幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。」

(マタイ 5章9節)

幼稚園は7月後半から夏休みに入る。今子どもたちはセミを追いかけ、昆虫を探し、そして花々にも関心を寄せている。ロータリの中央にサガリバナが咲き始めた。陽が落ちる頃に花を咲かせ、夜明けには散ってしまう「幻の花」。早く登園する園児たちが珍しそうに見て、喜んでいる。サガリバナのように私たちも周りを明るくしたいと思う。

第二礼拝次第

メッセージ: 郭永東牧師

司会: 渡真利彦文牧師

聖書: マラキ書 3:22~24 (約 P.1499)

メッセージ: 「新旧約中間史II」

プレイスメント: 「さあ賛美しよう」

「素晴らしい主を」

賛美: 新生 24 新生 552

ファミリー礼拝

メッセージ: 渡真利彦文牧師

聖書: 使徒言行録 8:4~8

メッセージ: 「ピリポの伝道」